

単元デザイン FIRST STEP ―中学校英語科―

1 単元デザインは何のため？

- 学習指導要領では、資質・能力を育成するため、単元や題材などの内容や時間のまとまりの中で「主体的・対話的で深い学び」を実現することが大切だと示されています。
- 「指導と評価の一体化」の観点から、単元（複数単元）の指導と評価の計画を作成することが求められています。
- 教師が生徒に身に付けさせたい資質・能力を明確にし、意図的・計画的に授業づくりを行うことができます。
- 生徒が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができます。



2 単元デザインの手順

- ① 単元を通して生徒に身に付けさせたい資質・能力を明確にし、**単元の目標**を考えます。
- ② **単元終末や後日に行う言語活動やパフォーマンステスト**を考えます。その際、**採点基準(ルーブリック)**も作成します。
- ③ 単元において**どのような言語活動等を行うのか**を考えます。
- ④ **指導と評価の計画**を作成します。

単元デザインの具体(例)

① 単元を通して生徒に身に付けさせたい資質・能力を明確にし、**単元の目標**を考えます。

当該単元において指導の重点を置く領域や取り扱う題材、言語材料等を踏まえ、単元を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にします。そうすることで、単元の目標を明確に設定することができます。また、単元の目標は、単元を中心となる言語活動やパフォーマンステストなどに即して設定する必要があります。

【具体例】 日本文化を紹介する単元

指導の重点を置く領域は、「話すこと[発表]」。

題材は、日本文化紹介。

受け身を用いた文を理解して、使えるようになればいいな。

実際に外国の方に日本文化を紹介できればいいな。身近な佐賀の文化についてがいいかな。

単元を通して身に付けさせたい資質・能力

テーマ(佐賀の文化)について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある内容を話す。

単元の目標

佐賀に来る外国人に佐賀のよさを知ってもらうために、佐賀の文化について、事実や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話すことができる。

② **単元終末や後日に行う言語活動やパフォーマンステスト**を考えます。その際、**採点基準(ルーブリック)**も作成します。

単元終末や後日に行う言語活動やパフォーマンステストを考える際は、その活動を通して、単元を通して身に付けさせたい資質・能力を適切に見取ることができるかしっかり吟味することが必要です。また、言語活動においては、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを明確に設定することが大切です。単元終末や後日に行う言語活動やパフォーマンステストとして、「佐賀県小・中学校学習状況調査」や「全国学力・学習状況調査」の問題を活用することも有効な方法の一つです。

【具体例】 日本文化を紹介する単元

この言語活動に決定！



単元終末の言語活動

来日予定のキャリスさんに佐賀の観光スポットを紹介するビデオレターを送ろう！

〔指示文〕

野田先生の友達のキャリスさんは、夏休みに来日し、佐賀にも1週間程度滞在する予定です。キャリスさんは今、佐賀で何をするか予定を立てています。キャリスさんは、歴史に興味があり、佐賀の歴史について学べる場所に行きたいそうです。また、和菓子が大好きで、佐賀で有名な和菓子を食べたいそうです。

キャリスさんに佐賀のよさを知ってもらうために、佐賀の観光スポットを紹介するビデオレターを作成して送りましょう。

〔採点基準(ルーブリック)の例〕

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	3つの条件を満たして話している。	3つの条件を満たして話そうとしている。
b	一部誤りがあるが、コミュニケーションに支障の無い程度の英文を用いて話すことができる。	1つの条件を満たしていないが、それ以外の2つの条件を満たして話している。	1つの条件を満たしていないが、それ以外の2つの条件を満たして話そうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

〔条件1〕 キャリスさんが好きなこと(歴史と和菓子)を踏まえ、観光スポットについて紹介している。

〔条件2〕 事実や自分の考えを整理して、お勧めの理由を話している。

〔条件3〕 紹介する観光スポットについて掘り下げ、佐賀のよさが伝わるように話している。

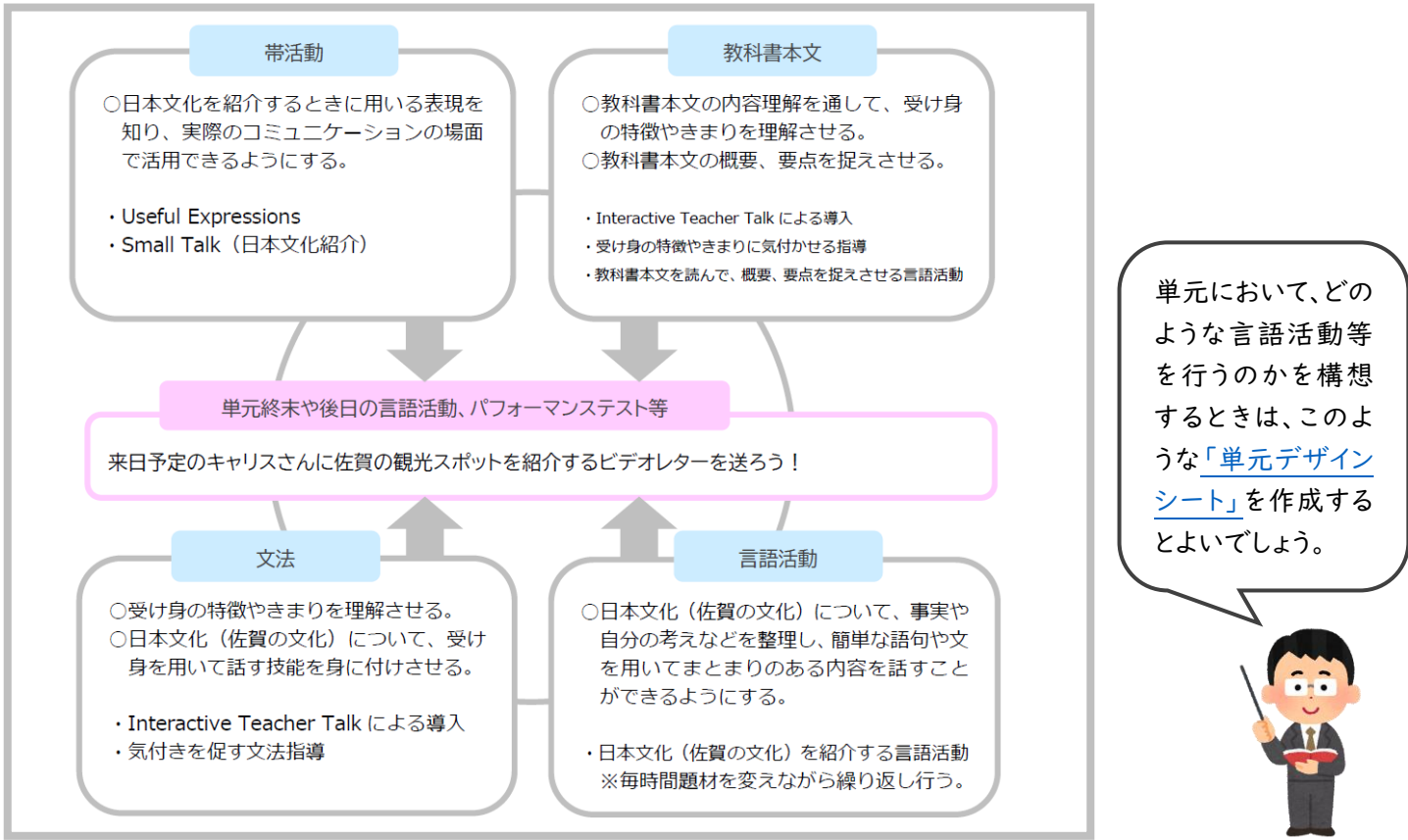
単元を通して身に付けさせたい資質・能力を評価するための言語活動やパフォーマンステスト、採点基準(ルーブリック)を明確に設定すると、単元を通して教師が指導すべきことも明確になります。例えば、この単元においては、「誤りのない正しい英文で話すこと」やキャリスさんが好きなことを踏まえ「適切な内容を話すこと」など、言語面と内容面からの指導が必要です。



③ 単元においてどのような言語活動等を行うのかを考えます。

普段の授業において行っている言語活動等の中には、言語活動や教科書本文の内容読解、帯活動、文法指導、練習やドリルなどが含まれます。単元を通して身に付けさせたい資質・能力を育成するために、単元を通してこれらの言語活動等を意図的に関連付けながら行う必要があります。

単元デザインシート



④ 指導と評価の計画を作成します。

指導と評価の計画を作成する際は、単元を通して身に付けさせたい資質・能力を育成するために、③で考えた言語活動等の系統性などを意識しながら、効果的に言語活動等を配列していくことが大切です。後に示す「指導と評価の計画を作成する際のポイント」を踏まえ、指導と評価の計画を作成しましょう。単元における評価場面の設定については、「[学習評価FIRST STEP](#)」を御覧ください。

【具体例】 日本文化を紹介する単元

1 キャリスさんからのビデオレターを単元の始めて見せたら、意欲的に単元の学習に取り組むんじゃないかな。

2 見通しをもって学習に取り組めるように、1時間目に単元の目標を確認しよう。

3 単元終末の言語活動で生徒がよいパフォーマンスができるように、題材を変えながら佐賀の文化を紹介する言語活動を繰り返し行おう。

時間目	言語活動等
1 時間目	■単元の目標を理解する。 ①キャリスさんからのビデオレターを見る。① ②自己目標を設定する。② ■佐賀の伝統的な食べ物について紹介する。③ ③Interactive Teacher Talk (「佐賀の伝統的な食べ物」の紹介)を聞く。 ④「佐賀の伝統的な食べ物」について、ペアで紹介し合う。 ⑤教師と生徒がやり取りを行いながら、受け身の文(肯定文)の特徴に気付く。 ⑥「佐賀の伝統的な食べ物」について、再度ペアで紹介し合う。 ⑦「佐賀の伝統的な食べ物」について、紹介文を書く。
2 時間目	■佐賀の祭りについて紹介する。③ ①前時に行った「佐賀の伝統的な食べ物」について、教師とやり取りを行う。 ②Interactive Teacher Talk (「佐賀の祭り」の紹介)を聞く。 ③「佐賀の祭り」について、ペアで紹介し合う。 ④教師と生徒がやり取りを行いながら、受け身の文(肯定文)の特徴に気付く。 ⑤「佐賀の祭り」について、再度ペアで話し合う。 ⑥「佐賀の祭り」について、紹介文を書く。

指導と評価の計画を作成する際のポイント

- ① 単元の始めに、単元の見通しをもたせる場面を設定します。
- ② 単元を通して、言語活動と指導を繰り返し行います。
- ③ 単元を通して、適宜生徒の学習状況を把握する場面を設定します。
- ④ 単元終末に、単元の学習を振り返る場面を設定します。
- ⑤ 単元終末や後日に、単元を通して資質・能力が身に付いたか確認する場面を設定します。

指導と評価の計画(例)

時間		ねらい(■)、言語活動等(丸数字)	知	思	態	【評価方法】
1		■単元の目標を理解する。 ①キャリスさんからのビデオレターを見る。 ②自己目標を設定する。 ■佐賀の伝統的な食べ物について紹介する。 ③Interactive Teacher Talk (「佐賀の伝統的な食べ物」の紹介)を聞く。 ④「佐賀の伝統的な食べ物」について、ペアで紹介し合う。 ⑤教師と生徒がやり取りを行いながら、受け身の文(肯定文)の特徴に気付く。 ⑥「佐賀の伝統的な食べ物」について、再度ペアで話し合う。 ⑦「佐賀の伝統的な食べ物」の紹介文を書く。				本時では、【指導に生かす評価】を行います。 「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例) ・個別にやり取りし、受け身の文(肯定文)の特徴への気付きを促す(言語活動等⑤)。
2		■佐賀の祭りについて紹介する。 ①前時に行った「佐賀の伝統的な食べ物」について、教師とやり取りを行う。 ②Interactive Teacher Talk (「佐賀の祭り」の紹介)を聞く。 ③「佐賀の祭り」について、ペアで紹介し合う。 ④教師と生徒がやり取りを行いながら、受け身の文(肯定文)の特徴に気付く。 ⑤「佐賀の祭り」について、再度ペアで話し合う。 ⑥「佐賀の祭り」について、紹介文を書く。 ⑦教科書 Part1 の内容理解を通して、受け身(肯定文)の特徴を				本時では、【指導に生かす評価】を行います。 「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例) ・個別にやり取りし、受け身の文(肯定文)の特徴に気付く。 ・個別にやり取りし、受け身の文(肯定文)の特徴を促す(言語活動等④)。
3		■佐賀の自然について紹介する。 ①Interactive Teacher Talk (「佐賀の自然」の紹介)を聞く。 ②「佐賀の自然」について、ペアで紹介し合う。 ③教師と生徒がやり取りを行いながら、受け身の文(肯定文)の特徴に気付く。 ④「佐賀の自然」について、再度ペアで話し合う。 ⑤「佐賀の自然」について、紹介文を書く。 ⑥教科書 Part2 の内容理解を通して、受け身(否定文)の特徴を				本時では、【指導に生かす評価】を行います。 「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例) ・個別にやり取りし、受け身の文(否定文)の特徴を促す(言語活動等③)。
6 7		■キャリスさんに紹介したい佐賀の観光スポットについて紹介する。 ①キャリスさんに宛てたビデオレターを作成することを確認する。 ②キャリスさんに紹介したい佐賀の観光スポットを決定する。 ③決定した観光スポットについての情報をワークシートに整理する。 ④ワークシートを基に、グループ内で発表し、その様子を1人1台端末で撮影する。 ⑤撮影した動画を見ながら、ビデオレターにおける英語使用の正確さ(言語面)と表現内容の適切さ(内容面)について、グループで意見交換を行う。 ⑥⑤で出された意見を基に、ビデオレターの修正を行う。 ⑦キャリスさんに宛てたビデオレターを1人1台端末で撮影する。 ⑧英語使用の正確さ(言語面)と表現内容の適切さ(内容面)から単元の学習を振り返る。				本時では、【指導に生かす評価】を行います。 「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例) ・ビデオレターの型を示し、それを基に紹介するよう促す(言語活動等④)。 ・意見交換の視点を提示する(言語活動等⑤)。
後日		パフォーマンステスト				本時では、【記録に残す評価】を行います。 ○ ○ ○ 【発表】

単元デザインの詳細については、佐賀県教育センターHP「[単元構成の手順](#)」を御参照ください。

